



# ホッピーだより

No. 365

2015年4月1日発行

むかわ町立 穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

Tel・Fax 0145-45-3141

ホームページ <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

ミニ企画展 2015年4月1日～5月31日  
会期中休館日あり

むかわ町立穂別博物館

## 北海道東部の白亜紀末アンモナイト新研究 ～国立科学博物館収蔵資料 根室層群産アンモナイト展示～



*Pachydiscus flexuosus*

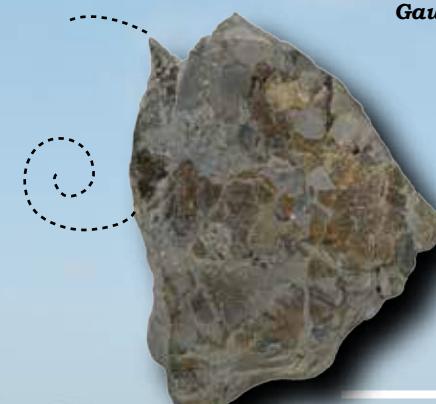


*Gaudryceras sp.*



*Gaudryceras makarovense*

*Diplomoceras cf. notabile*



*Gaudryceras cf. seymouriense*



*Anagaudryceras matsumotoi*



*Zelandites varuna*

5 cm

1 cm

*Pseudophyllites sp.*

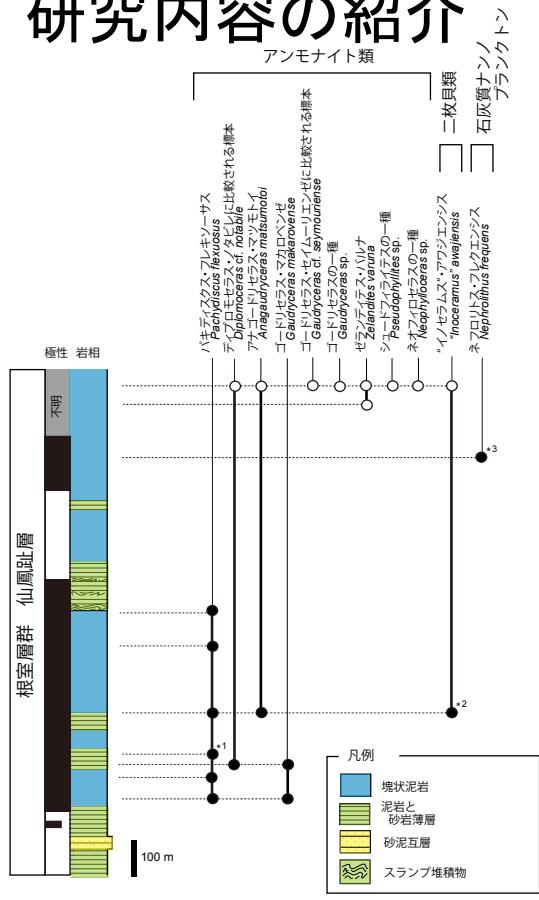
1 cm

*Neophyllites sp.*

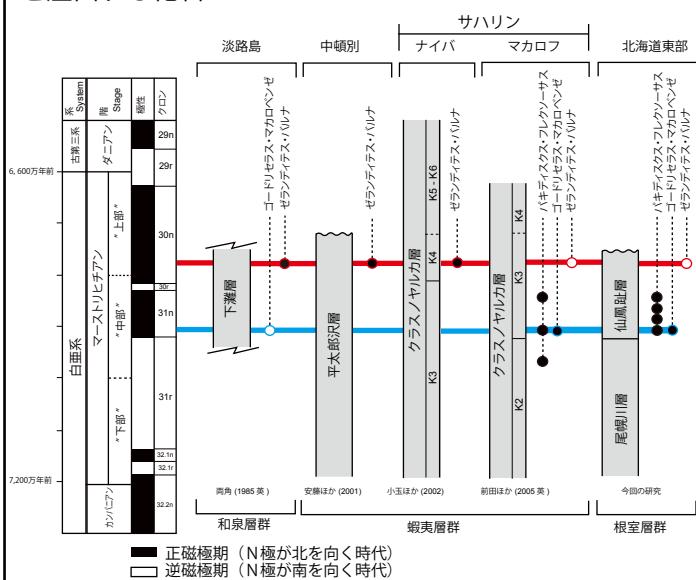
1 cm

協力（展示資料提供）国立科学博物館

# 研究内容の紹介



● 地層から直接採取されたもの ○ 転石由来のもの \*1~\*3 先行研究で得られたもの  
研究地域の古地磁気（極性）、岩相（柱状図）と産出する化石



地域間の生層序対比と古地磁気層序、地質年代の関係

中生代白亜紀末は恐竜・首長竜などさまざまな古生物が絶滅した時期です。北西太平洋地域において、白亜紀末の海成層（海でたまたま地層）は北海道～サハリンの蝦夷層群（マカラフ、ナイバ、中頓別、穂別など）、北海道東部の根室層群、大阪和泉山地～淡路島～四国阿讚山地の和泉層群などに分布しています。ここから産する化石から当時の海洋の生物相やその変遷が明らかにされています。

4月1日に論文発表（冊子として発行）された今回の研究\*では、2009年の先行研究で古地磁気層序\*\*が明らかにされていた根室層群仙鳳趾層から多数のアンモナイトを新たに採集したことで、アンモナイトの生層序（化石層序）—それぞれの古生物が産する順序や時代的範囲—を明らかにしました。

北西太平洋各地の白亜紀末アンモナイト生層序について考えると、時代対比に特に有用なアンモナイト2種（ゴードリセラス・マカラベンゼ *Gaudryceras makarovense* とゼランディテス・バルナ *Zelandites varuna*）が新たに明らかになり、これらによって、和泉層群と蝦夷層群、根室層群の地層の時代対比が可能であることが分かりました。さらに、研究を行った北海道東部では、アンモナイトの生層序と古地磁気層序の統合を行いましたので、ゴードリセラス・マカラベンゼが産する層準がクロン31n（マーストリヒチアン階“中部”）、ゼランディテス・バルナが産するのがクロン30n（マーストリヒチアン階“上部”）であることなどが分かりました。

北海道東部の根室層群は化石の産出が稀なので、何度もフィールドに行き、研究のために化石の採集を行いました。論文著者の重田康成先生は1995年～2010年に、荷福洸先生は京都大学学部生～大学院生修士課程の2003～2005年に、西村は、京都大学大学院生修士課程以降の2002年～2011年にフィールドに通い、地道にデータと化石を収集してきました。

\* 重田康成（国立科博）・西村智弘（穂別博）・荷福洸（INPEX）による研究；Yasunari Shigeta, Tomohiro Nishimura and Ko Nifuku, Middle and late Maastrichtian (latest Cretaceous) ammonoids from the Akkeshi Bay area, eastern Hokkaido, northern Japan and their biostratigraphic implications. *Paleontological Research*, Vol. 19, No. 2, pp. 107-127, doi:10.2517/2014PR034

\*\* 地球史のなかで地球磁場の極性は頻繁に逆転しており、N極が北を向く時代と南を向く時代を繰り返していたことが知られています。地層に残された古地磁気から地域間の対比や編年を行うことを古地磁気層序といいます。この地域の古地磁気層序は荷福先生を中心とした研究グループによって明らかにされています。

学芸員 西村智弘

## 公共交通機関による来館案内】（バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約10分）

### 往路（札幌・苫小牧方面▶博物館）

- ・新千歳空港 10:40 ①▶穂別中央 12:03
- ・札幌駅 8:10 ②▶むかわ四季の館 9:35 - (乗換)- むかわ四季の館 9:41 ④▶穂別中央 10:45
- ・苫小牧駅 7:58 ③▶鶴川駅 8:27 - (乗換)- 鶴川駅前 9:35 ④▶穂別中央 10:45

### 帰路（博物館▶札幌・苫小牧方面）

- ・穂別中央 16:17 ①▶新千歳空港 17:40
- ・穂別中央 15:40 ④▶鶴川駅前 16:50 - (乗換)- 鶴川駅 17:52 ③\*▶苫小牧駅 18:21
- ①道南バス 新千歳空港直行便（1,470円）前日の16時までに予約（0145-45-2284）
- ②道南バス 高速ペガサス号（2,340円）事前予約（0146-42-1231）
- ③ JR日高線（640円）\*JR日高線一部運休に伴う時刻変更
- ④道南バス 穂別鶴川線（200円）※各料金は大人1人分

4月 2015 年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月 2015 年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2		
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
(17)	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日 ○ 町民無料観覧日